

2014年5月1日

会社名	株式会社	高島屋
代表者名	取締役社長	木本 茂
コード番号		8233
連絡先	広報・IR室長	加藤 ナナ
	(大阪)	06-6631-1101
	(東京)	03-3211-4111

2014年4月度 高島屋店頭売上速報

百貨店概況 (前年比 単位:%)

(株)高島屋単体 14店舗	Δ13.2
(株)高島屋単体 および国内百貨店子会社 18店舗	Δ13.6

国内百貨店子会社は、関西地区の岡山高島屋・岐阜高島屋・米子高島屋、関東地区の高崎高島屋の4店舗です。

4月度の店頭売上は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動により、前年実績に届きませんでした。尚、3月からの累計は+10.3%となっています。

店舗別売上高概況 (前年比 単位:%)

関西地区

高島屋単体 6店舗	百貨店子会社 含む9店舗
Δ14.6	Δ15.5

大阪店	京都店	泉北店	岡山高島屋	岐阜高島屋	米子高島屋
Δ15.2	Δ15.7	Δ5.8	Δ14.6	Δ25.8	Δ19.3

大阪店の売上高は和歌山店・堺店を、京都店の売上高は洛西店を含みます。

関東地区

高島屋単体 8店舗	百貨店子会社 含む9店舗
Δ12.4	Δ12.4

日本橋店	横浜店	新宿店	玉川店	立川店	大宮店	柏店	高崎高島屋
Δ15.9	Δ11.4	Δ10.4	Δ11.3	Δ10.0	Δ20.1	Δ10.3	Δ10.9

横浜店の売上高は港南台店と「タカシマヤフードメゾン 新横浜店」を含みます。
柏店の売上高は「タカシマヤフードメゾン おおたかの森店」を含みます。

商品別売上では、3月に大幅に売上を伸ばした高額品の宝飾品(当社分類による18店舗ベース、以下同じ)や特選衣料雑貨をはじめ、食堂をのぞく商品群が前年比マイナスとなりました。

尚、3月からの累計では、食料品を除く商品群で前年比プラスとなっています。

店舗別売上では、高額品の売上比率の高い大型店の大阪店・京都店・日本橋店・横浜店や、テナント導入に伴い売場面積が約3割減となった大宮店が伸び悩みました。一方、外国人観光客が多い新宿店や、日用品の売上比率が高い郊外店・地方店の泉北店・立川店・柏店・高崎店は、比較的小幅なマイナスとなりました。

関西地区9店舗で前年比 15.5%、関東地区9店舗で同 12.4%となり、18店舗合計で同 13.6%となりました。